

1

説明文の出典は、日高敏隆『人間はどこまで動物か』（新潮社、2004）です。出題箇所は、人間を含めた動物の違いを1つの尺度におけると考えたり、人間と他の動物の相違を特別視したりするのは問題がある、という趣旨の文章です。

問1

傍線(1)「それは他の動物の例にならったからである」とありますが、カタカナでヒトと書くことでどのようなことが示されているか、それが書かれている箇所を答える問題です。17行目「人間もサルやイヌと並んでヒトという動物であることを示してくれる」がその箇所です。

問2

(2)にあてはまる語を選ぶ問題です。「言語」や「思想」を包括する概念としてあてはまるのは、イの「文化」です。

問3

傍線(3)「『ヒトと人間』とか『ヒトと動物』というナンセンスな対比も、当然のこのように口にされる始末となった」のナンセンスの理由を問う問題です。ヒトは人間のことで、カタカナでヒトと書くのは動物に含まれるからです。それらは比較する次元にはありません。答えはアです。

問4

傍線(4)「生理学や医学が進歩して、人間の体が他の『動物』の体とほとんどちがわなくなることがわかってくる」とありますが、本文で、行動においても、動物に共通することが述べられておりますので、その箇所をさがす問題です。それは、78行目「どの動物もそれぞれのコタイが自分自身の子孫をできるだけたくさん後代に残そうとしていることは同じ」という箇所ですので、それをまとめます。

問5

傍線(5)「問題は『人間はどこまで動物か?』という問いかけの中にある」に関して、(一)は、この前提になっている考え方が述べられている箇所を答える問題です。この考えの根本には、あくまでも人間を動物と区別しているということがありますので、41行目「人間と『動物』は違わなくてはならないのだ。」が答えです。(二)は、その理由を説明する問題です。傍線箇所の直後の48行目「一本しかないスケールの上にいるいろいろなものを並べて、それぞれがどこまで到達しているか?という発想に問題があるのである」とあり、その補足として60行目「この違いは同じスケールの上での『どこまで』という違いではなくて、いふなればベクトル(方向)ないしパターンの違いである」ありますので、それらをまとめます。これ以降も同様ですが、記述問題に際しては、制限字数の8割以上書くことが求められます。

問6

四角内の形式段落が入る個所を探す問題です。当該段落に「『イヌはどこまでネコか?』という問いを発することはない」という表現がありますから、イヌとネコの比較が述べられている56～59行目の段落の後に続くことになります。

問7

例年どおりの漢字問題です。

問8

本文の内容と合致するものを選ぶ問題です。アに生理学や医学とありますが、これらによってわかったのは、人間と動物の体のことで、チンパンジーの道具製作ではありませんから、誤り。イの「新聞報道は人々の反感を和らげるためにカタカナ表記を使った」とありますが、本文では、動物名をカタカナで書くという習慣が定着していったことが理由とされていますので誤り。エでは、「ふさわしい漢字がなかったので、ヒトと表記することになった」とありますが、本文では、「他の動物にならったからである」と説明されていますので、誤り。したがってウが正解です。

2

物語文の出典は、あさのあつこ『バッテリー』（角川文庫他）です。出題個所は、野球の練習を終えるにあたり、いつもと違う豪の態度を不審に思う巧の心情が中心に描かれている場面です。

問1

この文章の中で時刻を知る手がかりとなる個所をさがす問題です。32行目「西にかたむいた日の光」が正解です。

問2

傍線(2)「投げると言われれば、あと何十球でも投げられるけれど、投げても意味がないだろう」と考える理由を説明する問題です。巧の考えは、10～12行目「自分の思いがある～練習の終わり」で述べられていますので、そこをまとめます。

問3

例年どおりの語句問題です。

問4

傍線(4)「(ということは、豪は、ものたりないってことか)」という巧の心の説明を選ぶ問題です。本文の18行目に「豪が巧の練習のペースに文句を言うことは一度もなかった」として、44行目「おまえもわかってるし」とあるので、アイウは間違いです。したがってエが正解です。

問5

傍線(5)「じゃあ、なんて言えばいい?」の答え、すなわち巧が本当に言いたいのはどんなことを答える問題です。50行目「こんなことを言いたいんじゃない」の後が、本当に

言いたいことですので、「豪が、いつもと少しようすがちがう。そう感じて気になった」ということをまとめます。

問6

傍線(6)「(ああ、めんどくさい)心の中で舌うちする」と表現される時の巧の心情を説明する問題です。うまく言葉にできないじれったい気持ちは、40行目「自分の思っていることを伝えるのはむずかしい」とありますので、これを中心に、まとめます。

問7

傍線(7)「おほっ、やっぱ春じゃ。雲が動きよる」と発言する豪の気持ちを答える問題です。この発言の直前に豪は55行目「おふくろともめちゃってな」という自分の本心にかかわることを少しだけ言って、話を変えていますので、イが正解となります。

問8

75行目「のんき」というのは、豪のどのような行動を指しているのかを説明する問題です。これは豪の母親の発言だという点を考慮する必要があります。78～80行目にかかれていること、すなわち病院のひとり息子という立場なのに、進学塾をやめたことを母親が不満に思っ、「のんき」と言っているのです。

問9

この文章の鑑賞として最もふさわしいものを選ぶ問題です。アの「風景の激しい変化」、ウの「現実にはありえない場面」、エの「スポーツに対する日本人の考え方に強い疑問を投げかけようとしている」が違っていますので、イが正解です。

本日もちまして、本校の入試は終了いたします。2年前あるいは3年前から受験に取り組んでこられた受験生諸姉が実力を遺憾なく発揮され、無事に受験を終えられますことを、私ども教職員・在校生一同、切に願っております。また、これまでお子様を温かく見守ってこられた保護者の方々やご指導にあられた塾の先生方のご胸中也察するに余りあります。僭窃ではございますが、本当にお疲れ様でございましたと申し上げたいと存じます。これで国語の問題解説を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。